

「(仮称) 道の駅姫路」基本計画 目次

第1章 はじめに

- 1 「道の駅」とは
- 2 基本構想における整備の目的と整備コンセプト
- 3 基本構想における基本方針
- 4 基本構想における導入機能

第2章 導入機能ごとの検討

- 1 ヒアリング調査
- 2 主な利用シチュエーションでの行動イメージ
- 3 導入機能と整備のポイント

第3章 施設規模

- 1 施設規模の検討の流れ
- 2 施設規模の算定基準
- 3 計画交通量
- 4 計画駐車ます数
- 5 施設規模と敷地規模

第4章 事業対象地の選定

- 1 事業対象地

第5章 施設配置

- 1 敷地条件の整理
- 2 施設配置の考え方
- 3 ゾーニング案の検討
- 4 施設配置図(案)

第6章 整備・管理運営手法

- 1 整備主体と整備方法
- 2 整備・管理運営手法の検討
- 3 事業収支計画

第7章 計画実現に向けた進め方

- 1 概算事業費
- 2 インフラ計画
- 3 今後のスケジュール
- 4 利用可能な補助制度
- 5 実現に向けた課題の整理

基本計画骨子では、主に「第2章 導入機能ごとの検討」についてとりまとめましたので、以下にご説明します。今後、この基本計画骨子の内容を踏まえて第3章以降を検討してまいります。

第1章 はじめに

基本構想(令和2年度策定)

「(仮称) 道の駅姫路」のコンセプト

播磨の実力(みりょく)にあふれ、世代・地域を越えた交流を生み出す道の駅

「(仮称) 道の駅姫路」の3つの基本方針

播磨の実力(みりょく)ある産品があふれ触れることのできる魅力的な場
こどもが楽しめ三世代が楽しめる世代を越えた交流の場
観光客や市民が集う地域を越えた交流の場

基本計画(令和3年度策定)

コンセプト、基本方針を踏まえ、より具体的な検討を行います

第2章 導入機能ごとの検討

1. ヒアリング調査

基本構想のコンセプト・
3つの基本方針

主な利用シチュエーションとして次の3つを想定

こどもの遊び・体験

旅行者へのおもてなし

地元・周辺住民の日常利用

「(仮称) 道の駅姫路」のあり方や機能についてのヒアリング

○『「(仮称) 道の駅姫路」の夢を語るアイデア会議』(子育て層、道の駅好き、周辺住民別にワークショップ開催)

○懇話会(関係団体、地元、公募市民、学識者で構成)

○子育て層にアンケート実施

第2回懇話会開催：ヒアリング調査意見を踏まえた意見交換

表：ヒアリング調査

| 名称 | 「(仮称) 道の駅姫路」の夢を語るアイデア会議 | | | 懇話会委員意見 | 子育て層に対するアンケート |
|-----|--|--|--|--|---|
| | 子育て層 | 道の駅好き | 周辺住民 | | |
| テーマ | こどもといっしょに行きたくなる道の駅を考えよう！ | 姫路に訪れた場合に必ず行きたくなる道の駅を考えよう！ | 地域にあるとうれしい道の駅を考えよう！ | | 子育てをされているあなたのリクエストやアイデアを教えてください！ |
| 日時 | 6月22日 9:30~11:10 | 6月23日 9:30~11:10 | 7月11日 14:00~15:40 | 回答期間： 7月1日~19日 | 回答期間： 6月30日~7月18日 |
| 場所 | 姫路市役所 10階第四会議室 | | 谷外公民館 | 用紙記入（自由回答） | すこやかセンター |
| 参加者 | 18名 (こどもがいる市職員) | 16名 (道の駅が好きな市職員、懇話会公募市民への応募者) | 19名 (地元自治会から推薦・選出された地元住民) | 「(仮称) 道の駅姫路」整備検討懇話会委員 | 回収数 42件 (配布 230 枚、回収率 18.3%) 内訳：157 名配布（子育て学習センタープログラム参加者、子育て講演会参加者） 73 部持ち帰り（遊戯室に配架） |
| 内容 | ・テーマ①：「姫路市内や周辺で、こどもを連れていく場所、その理由」 ・テーマ②：「こどもを連れていきたいくなる道の駅とは」 | ・テーマ①：「旅先等でこれまでに行ってきた道の駅、その理由」 ・テーマ②：「姫路を来訪した人（観光客）が、ぜひ立ち寄りたくなる道の駅とは」 | ・テーマ①：「どんな道の駅であれば、日常的に利用したい？」 ・テーマ②：「道の駅ができることを活かして、地域で取り組みそうなこと」 | 1. コンセプトやターゲット、導入機能（施設等）、整備・管理運営手法等に関する意見等 2. 姫路市が参考とすべき道の駅や類似施設（あるいは機能や取組等）とその理由 | 1. 「(仮称) 道の駅姫路」にあつたらよいと思うもの 2. 公園に行く頻度 3. 週末など休みの日に行く公園とその理由、さらに欲しい機能 4. 道の駅を想定した場合に「こども連れでも行きやすい」と感じる施設・サービス（トイレ、食事、買い物等） |



アイデア会議(子育て層)



アイデア会議(道の駅好き)



アイデア会議(周辺住民)



アンケート周知チラシ

2. 主な利用シチュエーションでの行動イメージ

○ヒアリング調査の結果を踏まえ、「(仮称) 道の駅姫路」における主な利用シチュエーションでの行動イメージを以下のように設定した。

表：主な利用シチュエーションでの行動イメージ

| こどもの遊び・体験 | 旅行者へのおもてなし | 地元・周辺住民の日常利用 |
|---|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・こどもが「道の駅に遊びに行きたい」とせがみ、親も安心して連れていける公園感覚な場所として日常利用する ・季節のイベントに親子で参加する（夏休みの工作等） ・こどもが遊んでいる間に直売所で買物できる ・毎週末何かイベントをしているので、週末の午後からでもちょっと出かけられる ・ショッピングモールと同じように道の駅を利用する ・きれいなトイレ、授乳室があるから安心して子連れで出かけられる | <ul style="list-style-type: none"> ・名物のある道の駅として、目的地にする（限定スイーツ、限定ランチ、ゲートウェイとしてのシンボル等） ・地元播磨の新鮮な農産物・海産物を買求める ・サイクリング・ツーリングの集合場所や立ち寄り場所として利用する ・姫路に来た方が姫路城以外にいくところがないか情報収集する ・高速道路に乗る前、下りた後の休憩目的で立ち寄る ・帰り道で最後にお土産をまとめて買う | <ul style="list-style-type: none"> ・日常的な買物として直売所を利用する（野菜等） ・贈答品を買うために直売所を利用する（フルーツ等） ・友人が姫路に遊びにきた際にランチに連れてくる ・自家栽培の農産物を出荷する ・おじいちゃん・おばあちゃんの知恵袋を披露する ・地域の地域活動や学校の発表会をする |

3. 導入機能と整備のポイント

○上記1, 2を踏まえ、基本構想で分類した9つの機能ごとに、主な利用シチュエーションでの整備のポイント及びイメージを整理した。このイメージはハード整備の方向性及び運営者に期待するソフト事業の方向性を表すものである。

表：導入機能と整備のポイント（○：姫路らしさを打ち出せる内容 ・：基本的かつ重要な内容）

| 導入機能 | | 主な利用シチュエーションでの整備のポイント | イメージ |
|---------------------------|--|--|------|
| 休憩機能 誰でも安心して使える休憩拠点 | 《こどもの遊び・体験》 子連れでも安心なトイレ・授乳室 | ○ユニークなトイレ（照明、壁の色等工夫） ・子ども連れ配慮（ベビーカーのまま入れるトイレ、見守りできるキッズトイレ、男性トイレ内おむつ替えスペースなど） ・清潔なトイレ | |
| | 《旅行者へのおもてなし》 駐車しやすい駐車場 | 駐車場 ○緑いっぱいの駐車場（芝生、日陰となる樹木の植栽） ・幅の広い駐車スペース ・屋根付き駐車場（ベビーカー、車いす等に配慮） ・給電付き駐車場（太陽光パネルなど） ・歩車分離確保 ・キャンプカー用スペース ・防犯、安全に配慮した駐車場（照明、防犯カメラ等） | |
| | 《地元・周辺住民の日常利用》 — | その他休憩機能 ・調乳室、個室授乳室 ・赤ちゃん用おむつやミルクのばら売り ・シャワールームや温浴施設 ・コインランドリー | |
| 情報発信機能 来訪者へのあたたかいおもてなし | 《こどもの遊び・体験》 — | ・情報提供コーナー（デジタルサイネージ；姫路市内、周辺地域、播磨地域の魅力情報、道路情報など） | |
| | 《旅行者へのおもてなし》 旅をするうえで必要不可欠な情報 | ・姫路市内及び播磨地域の観光情報発信（飾東・花田周辺の地域情報発信と共に） | |
| | 《地元・周辺住民の日常利用》 — | | |
| 地域連携機能 播磨の実力で全力おもてなし | 《こどもの遊び・体験》 週末のちょっとしたお出かけになる外食 | 物販 ○地元播磨の農水産物の販売所（姫路の農産物、水産物、畜産物などの生鮮品を核に「しそう・西播磨・神崎郡各産地」の商品構成を行う） ・地元のお菓子の試し買いコーナー（1つから買える） ・観葉植物や種苗、花を活かした内外装と販売 ・姫路と縁のある地域の人気物産販売 ・DMOと連携した商品開発 | |
| | 《旅行者へのおもてなし》 ここにしかないものが買える・食べられる・見られる | 飲食 ○おしゃれで界隈性のあるフードコート（ドーンと大きなスペースでないもの） ○BBQスペース（レストラン併設）（屋根付屋外飲食スペース） ○道の駅限定のスイーツ、食べ物 ○作りたてでここでしか食べられない特別な菓子工房 ・子ども連れ配慮（専用コーナー、お座敷、ベビーカー置き場、ベビーカーが通れる広さの通路など） ・観光客向けのプレミアムレストランと地元や子育て層向け手軽なテイクアウト、フードコート ・地元の食材を使ったフードコートや子ども用メニュー | |
| | 《地元・周辺住民の日常利用》 日常的に行きたくなる、使いやすい | その他 ・市役所の出先窓口（出張所、地域包括支援センター） ・地元産木材を使用した施設 ・出荷者や従業員が使いやすい施設配置 | |

| 導入機能 | | 主な利用シチュエーションでの整備のポイント | イメージ |
|------------|--------------------------------|---|---|
| 利便性・魅力向上機能 | 広域防災拠点機能 もしものときには防災拠点に早変わり | 《こどもの遊び・体験》 — | <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の情報発信 ・防災倉庫 ・芝生広場等の避難場所 ・エネルギー設備（水素等を活用した自家発電設備や太陽光発電設備：通信、スマホ充電等に使用可）（環境教育・啓発） ・避難所（普段は地域活動や会合、市民協働、カルチャースクール等で使える会議室） |
| | | 《旅行者へのおもてなし》 — | |
| | | 《地元・周辺住民の日常利用》 地域の防災拠点 | |
| 利便性・魅力向上機能 | 交通結節機能 広い駐車場を活かしたまち・そとへの結節点 | 《こどもの遊び・体験》 — | <ul style="list-style-type: none"> ○空港リムジンバスの停留所（自家用車との交錯を回避）（パークアンドバスライド用駐車スペース） ・夜間早朝も安心安全なリムジンバス待合室 ・サイクリング・ツーリングの拠点 ・電気自動車充電スタンド ・自動運転の実験拠点 ・貨客混載バスを利用した播磨の名産品発信基地 |
| | | 《旅行者へのおもてなし》 サイクリング・ツーリングの拠点 | |
| | | 《地元・周辺住民の日常利用》 空港へのアクセスとして | |
| 利便性・魅力向上機能 | 体験機能 姫路の手仕事・農仕事・海仕事を学ぶ | 《こどもの遊び・体験》 地域の仕事を体験して地域への愛着につなげる | <ul style="list-style-type: none"> ○農業体験（周辺農家・企業との連携、スマート農業） ○工芸体験（建物内体験スペース（皮革等）） ・漁業体験（地引網体験への送客など） |
| | | 《旅行者へのおもてなし》 姫路の工芸品を自分で作って帰れる | |
| | | 《地元・周辺住民の日常利用》 地域の仕事をPRできる | |
| 交流機能 | 観光ゲートウェイ機能 姫路観光の新たな魅力を開くゲート | 《こどもの遊び・体験》 — | <ul style="list-style-type: none"> ○コンシェルジュコーナー（DMOと連携） ○「姫路」らしい道の駅（姫路特産品を建物の内外装に取り入れる（明珍火箸を自動ドア付近に設置、しらすぎ染めを壁面に使用、皮革を椅子の座面に使用など）） ○展望テラス ○変わり種自動販売機（姫路・播磨特産品）（cf.スキマデパート） ○姫路城への期待感を醸成するシンボリックな仕掛け（かがり火、のぼり、宿場町のデザインなど） ・姫路城へのパークアンドライド（バスデザインや道中ののぼりなどでわくわくできるような演出で誘導） ・四季折々の花を植える ・秋祭りの屋台陳列 |
| | | 《旅行者へのおもてなし》 地元の人のふれあいの中でツウな情報がもらえる 姫路にきたよ！と思える演出 | |
| | | 《地元・周辺住民の日常利用》 地域全体でおもてなしする | |
| 交流機能 | こどもの遊び場 想像力のあるこどもが育つ遊び場 | 《こどもの遊び・体験》 近くの公園感覚で日常的に遊べる週末のちょっとした楽しいお出かけ | <ul style="list-style-type: none"> ○芝生広場 ○市内にあまりない遊具のある遊び場（木登り、トランポリン遊具など）（メンテナンスが少なく済むモニュメント的な遊具や自然を活かした空間→大型遊具は要検討） ○乳幼児向けの児童館、こども図書館 ○遊び道具貸し出し（芝生広場用） ○水遊び場（→メンテ等考慮し、実装については要検討） ・ビオトープ ・日陰や屋根（親が周囲で見守れる空間があり、こどもは真夏や雨天でも遊べる） ・遊び場に柵（安全に遊ばせることができる） ・ボルダリング（AR,VR 姫路城石垣ボルダリング） |
| | | 《旅行者へのおもてなし》 — | |
| | | 《地元・周辺住民の日常利用》 — | |
| 交流機能 | イベントスペース いつでもにぎやかなイベントスペース | 《こどもの遊び・体験》 毎週末イベントが開催されている | <ul style="list-style-type: none"> ○屋根付フリースペース（イベント、フリマ、朝市、休憩、災害時等） ・定期的に入れ替わるキッチンカーの出店（チャレンジ出店） |
| | | 《旅行者へのおもてなし》 期間限定のここにしかないものが買える・食べられる | |
| | | 《地元・周辺住民の日常利用》 マルシェやキッチンカーなど本格出店の前にチャレンジすることができる | |
| その他 | | | <ul style="list-style-type: none"> ○アフターコロナのニューノーマルに対応した、前例にとらわれずに挑戦した道の駅 ・SDGsに配慮した、将来のまちの負担にならない施設（エネルギーの地産地消、フードバンクなど） |

イメージ写真

休憩機能



緑の多い駐車場(道の駅ましこ)



ベビーコーナー(道の駅米沢)

情報発信機能



観光情報発信
(道の駅米沢)

地域連携機能



地元特産品販売所
(道の駅神戸ルーツワールド大沢)



外国のおしゃれなフードコート(NY)



手ぶら BBQ
(道の駅グランテラス筑西)

広域防災拠点機能



純水素型燃料電池コージェネレーションシステム(道の駅なみえ)

交通結節機能



レンタサイクル(スポーツバイク)
(大津駅観光案内所)

体験機能



体験農園(いもほり)

観光ゲートウェイ機能



コンシェルジュ(道の駅飛鳥)

イベントスペース



大屋根広場
(安満遺跡公園)



花摘み園(道の駅おおつの里)

こどもの遊び場



芝生広場(道の駅ましこ)



ポーネルンド・プレイヴィル
(安満遺跡公園)



水あそび場(道の駅ぎのざ)